

印刷コラボレーション展を開催

共創ネットワーク構築の場

印刷関連企業が得意技を披露

全印工連・東印工組

全日本印刷工業組合連合会と東京都印刷工業組合は、九月二十一日から二十七日までのIGAS2007会期中、東京ビッグサイト西3ホールで、印刷会社がそれぞれ得意分野を紹介する「印刷コラボレーション展2007」を開催する。

コラボレーション展は日常の業務のパートナーを見つけ、同業者の連携を広げることが目的に企画されたもので、IGAS2007の会場に設置される。参加

規模は九十五社・団体、一・二五小間。会場では印刷新ビジネスを創造する高付加価値印刷やIT関連技術、特殊加工などが提案される。

コラボレーション展は経営資源が限られる中小の印刷関連会社がビジネスを広げるために、社外パートナーを見出すことを目的に企画された。中小の印刷関連会社は新たな技術や製品を開発しても商圏が狭く、全国規模で販路を構築するこ

とも難しい。コラボレーション展ではそうした印刷会社がそれぞれ得意分野を披露、また、来場した印刷関連会社や印刷発注者が新たなビジネスの機会やヒントを探す場にもなる。

開催規模は当初、予定されていた一〇〇小間を上回る二・二五小間。地方からの出展も半数にのぼり、コラボレーション展への関心の高さが示されている。



開催挨拶

全日本印刷工業組合連合会

会長 浅野 健

全日本印刷工業組合連合会・東京都印刷工業組合

は、九月二十一日(金)・二十七日(木)に東京ビッグサイトで開催される「IGAS2007」会場内で、「印刷コラボレーション展2007」を開催いたします。

昨今の印刷業界を取り巻く環境は、劇的な変化に直

面しています。社会・経済環境および産業構造は加速度的に多様化し、中小印刷産業も変革を求められています。

当連合会・組合では、組合員企業に業態変革推進プランをお示しして、変化に対応するのではなく、自らの意思で「お客様思考に立つ」という考えに基づいた変革を進めていくこと、また、一社単独での生き残りは難しく、強みのある社外

パートナー(共創ネットワーク)が必要であることを積極的に発信しています。今回、業態変革推進プランで提唱されている、自ら

を積極的に情報発信して、日常のお仕事のパートナーを見つけ、コラボレーションする、そのようなネットワークづくりのきっかけとなるようなエリアを設けました。是非、この機会にビジネス交流を進めていただければと思います。

でに独自のコラボレーション展で実績のあるモトヤさんに協力を頂いた。申込み時点では成功したといえる。東アジア・太平洋地域最大の国際機材展であるIGASに、印刷機材ユーザーである我々が得意技を

展示することは意義があると思う。日本はこの地域の印刷先進国である。我々も参加し、機材メーカーと同じ意識を持つことが必要と感ずる」と開催意義を説明。また、「印刷業界は投資を必要としなかったが、今こそ、投資が必要な時代になった。リスクが伴うが、投資をしなければリターンがない。東京以外から出展される企業には感謝するとともに、それだけ投資しなければならぬという背景があると認識している」と